



私が中学3年生の夏休み。母と一緒に近くの市民ホールで行われた演奏会に出かけました。その日に聴いた演奏が、心の底から「音楽はおもしろい」「もっと聴きたい」と感じさせてくれたように思います。そのとき聴いたのはロンドンフィルハーモニー管弦楽団による「交響曲第7番(ベートーベン作曲)」です。少し古いですが、「のだめカンタービレ」という音楽大学を舞台にしたドラマでも人気となった曲でもあります。力強くも華々しい第1楽章の冒頭、明るい未来がどこまでも広がっていてわくわく感が止まらない雰囲気 of 終楽章。それまで何度も演奏会に行って、たくさんの



すばらしい演奏を聴きましたが、これほど高揚感を感じたことはありませんでした。次の日、「交響曲第7番」のレコードを買い、しばらくの間、毎日聴いたことを覚えています。スコア(総譜)も手に入れ、それを見ながら聴いて新しい発見をしては楽しんでいました。一つの曲をいろいろな角度から聴くことができるようになって、音楽がもっともっと好きになっていきました。この体験が私を音楽の先生への道に進めた一つのきっかけだったかもしれません。どの体験も自分の進む道に関わるもの。だれとの出会いも自分の学びになること。一日たりとも同じではない日々を積み重ねることで、自分を育てているのです。これから3年生にとって、自分の進路を決定していく大切な時期。1、2年生にとって、次のステップへ上がるために大切な時期。このような時期だからこそ、生徒のみなさんには、どんなことにも誰に対しても丁寧に向き合い取り組むことで、多くの学びを自分のものとしてほしいと思います。

英語で伝えたい！うめのみ杯英語スピーチコンテストで活躍した太西星



7月29日(火)に、プラム・カルコア太宰府で第22回太宰府市英語スピーチ大会「うめのみ杯」が開催されました。このコンテストは、各学年で設定している課題を暗唱して発表する「課題の部」と、日ごろから自分が考えていることを自由に英語で発表する「スピーチの部」があります。太宰府西中からは、2部門に合わせて6名が出場し、会場にいた多くの観客の前で、すばらしいスピーチをしました。英語を「自分の言葉」として堂々と、そして表情豊かに伝える姿から、頼もしさとわくわくした気持ち、そして挑戦することを楽しんでいると感じることができました。

躍動感あふれる演奏でたくさんの元気をもらうことができた「四中合同演奏会」

8月8日(金)に太宰府市内四中学校の吹奏楽部による合同演奏会が行われました。第一部は、各中学校吹奏楽部によるステージ。各校とも吹奏楽コンクールで演奏した自由曲と、工夫を凝らした演出とともに会場を盛り上げたポップスの2曲を演奏しました。どの学校も吹奏楽コンクールの自由曲は、細部にまでこだわっていて、曲のもつ情景や世界観が目の前に浮き上がってくるような情感あふれる演奏でした。圧巻だったのが第二部の3年合同ステージでした。一人ひとりの音が体全体に迫ってくるような力強さと洗練された艶やかな響きは会場中に勇気と感動を与えてくれました。演奏が終わった瞬間の大喝采がそのことを物語っていたように思います。どの部活動も3年生が引退。部を支えてくれた3年生のこれまでの頑張りに心から感謝します。2年生と1年生でさらに進化・発展した部活動にしていきたいと思います。

